

シテ四岐及ビ鋸齒アリテ、カヘデノ葉ノ形ニ似タリ、對生ス、莖高サ一尺許、五月花ヲ開ク深黃色、白花ノ敗醬花ヨリ大ナリ、是蘇恭說トコロノ敗醬コレナリ、凡敗醬ハ根ヨリ長キツルヲ四方ヘ引キ、小葉兩對ス、忍冬葉ニ似テ敗醬アリ、只白山ヲミナメシハコノ蔓ナシ、増、白花敗醬ハ、花ノ形黃花ノ者ヨリ大ニシテ花後ニ實アリ、百合實ニ似テ小ナリ、花後根モトヨリ蔓ノ如ク枝ヲ生ズ、長サ五六尺橫行ス、其蔓ニ生ズル葉ハ圓長ク、小判ノ形ニシテ莖ニ對生ス、每節鬚根ヲ生ジ、此ヨリ又苗葉ヲ生ジ、翌年ニ至テ大ニ繁茂シ、舊根枯ル、又子ヲ蒔テヨク生ズ、根ハ牛蒡根ノ如ク、苗根共ニ臭氣アリ、

一種サミダレヲミナヘシ、サツキヲミナヘシトモ云モノアリ、春月地ニ布テ七八葉攢リ生ズ、初夏莖ヲ抽ス、高サ三四尺、葉莖ニ對ス、葉ノ形紫苑ノ小ナルガ如クニシテ、刻アル者アリ、刻ナキモノアリ、莖ニ生ズル葉ハ漸ク小ナリ、四月ノ末花始テ開キ、五月ニ盛ナリ、故ニサミダレヲミナヘシト云、黃色ニシテヲミナヘシノ花ト同ジ、根株蔓ヲ生ズルコト亦同ジ、

〔草木育種^下〕敗醬^{美花}_草 山の野に自生す、花の黄なるを女郎花と云、花の白きを男^{おとこ}郎花といふ、植る地ハ黒ぼくよし、冬ハ細なる芥、又ハ木の葉を覆べし、自然に腐て肥となるなり、

〔江家次第^{七八}〕相撲召合

官人以上位袍、番長以下青袍懸緒、^略中 右插女郎華、

〔古今和歌集^{秋四}〕題しらす

僧正遍昭

なにめで、おれるばかりぞ女郎花われおちにきと人にかたるな

僧正遍昭がもとに、ならへまかりける時におとこ山にてをみなへしをみてよめる、

女郎花うしと見つ、ぞゆきすぐるおとこ山にしたてりと思へば

ふるのいまみち